

## 一学期 4月11日～7月18日

教材名	目安	進め方
あさ	楽しく音読	教師の後に音読 絵を見て何をしているか、何があるか生徒に見つけさせる
なんて いおうかな	相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話す	絵を見て、何をして、どんな話をしているか場面なのかを出し合う
どんな おはなしかな	本の読み聞かせを楽しく聞く事	教師の本の読み聞かせ
どうぞ よろしく	名刺を使い自己紹介	名刺に名前を書き、友達に紹介する 書く時の正しい姿勢の指導
こえのおおきさ どうするの	場面の合わせた声の大きさで話す	絵を見て、四つの場面ごとにどんな声の大きさではなしているかを考え、実際に声を出す
うたにあわせて あいうえお	口の開け方、声の大きさ、リズム、テンポを工夫して繰り返し読む 「あいうえお」の文字を書けるようにする	手拍子をつけて教師の後に繰り返し音読 書き順に気をつけて書く
ことばを つくろう	既習の平仮名を使って単語を書く	「あ」「い」「う」「え」「お」で始まる言葉を見つけノートに書く
えを みて はなそう	絵を見ながら方に合わせて尋ねたり、質問に答えたりする	二人組になり、「何が」「何処にいますか。」の質問、「～がいます。」「～あります。」の答え方
かきと かぎ	平仮名で濁音を含む単語を書く	(唱え歌) 濁音の読みと書きの練習 濁音を抜かした文に濁音をいれる
あさの おひさま	リズムや繰り返しを意識しながら音読 朝日や海の様子を想像しながら読む	体を動かしながら音読 はっきりと声に出して音読
はなの みち	文章や挿絵を見ながら、場面の様子について、想像を広げて読むこと 敬体で書かれた文章になじむこと	挿絵をと本文の対応関係を確認し、お話の内容を確かめる 好きな場面の音読 役を決めて初めての音読会
ぶんを つくろう	主語と述語の関係に注意して「～が～。」という文型の文を書く	例文を読み、「～が～。」の文型に気づかせ、教科書の口に入る述語を考え、「～が～。」の文型でノートにかく、また身の回りからの文を探しノートに書く 文の終わりには、句点を打つことを確かめる

## 一学期 4月11日～7月18日

教材名	目安	進め方
ねこと ねっこ	促音や半濁音のある言葉を見つけて、正しく書く	唱え歌を楽しく読み、また手拍子を使い音読し、促音に気付かせる 促音の位置の書き方 「っ」を抜いたプリントに書きこむ
わけを はなそう	気持ちを話した後に、その訳を話すこと	押絵を見ながら、「私は、～。」「どうしてかという～からです。」の文型で答える
おばさんと おばあさん	長音のある言葉を集め、読み書き出来るとともに、助詞「を」を正しく使う	唱え歌の音読 長音を使って「～を～。」の文を書く
くちばし	説明の順序や内容を考えながら読む 助詞「は」を正しく用いながら、文を書く	絵や本文を対応させながら読み、「問い」と「答え」を確かめる 自分で選んだ鳥や動物について、「問い」と「答え」の文を書き説明
おもちゃと おもちゃ	拗音のある言葉を集め、読み書きできるとともに助詞「へ」を文の中で正しく使うこと	手拍子を使い、唱え歌をリズムに気をつけて読み、「おもちゃ」と「おもちゃ」の言葉の違いに気付かせる 拗音のある言葉を読み、書く練習 「～へ～」の文を書く
おもいだして はなそう	自分の体験を思い出し、順序良く話す事 友達の話に興味持って聞くこと	「いつ・どこで・誰と・何を・どうした」という観点から、最近の出来事を詳しく思い出し、話す
あいうえおで あそぼう	はっきりした発音や口形に気をつけて声を出す事 遊び歌の語のまとまりや内容、言葉のおもしろさを楽しみながら声に出して読む事	節をつけて歌うように読み、怒りながら、嬉しそうな調子の良いリズムを楽しむ 五十音を縦や横や斜めに読む
おおきく なった	書こうとする題材に必要な事柄を、対象を観察して集めること 句読点を使ってつながりのある文を書くこと 観察した事を、的確な観点を表す事	作例を見て書き方を確かめ、どんな観点を観察したいか出し合う 観察記録を書き、発表する
おむしび ころりん	語や文としてまとまりや内容、文章のリズムに注意しながら声に出して読むこと 場面の様子や登場人物について想像を広げながら読むこと	教師の範読を聞き、話の内容や押絵のどんな様子かを説明 皆で楽しく役割を決めて音読 カギカッコの書き方

## 一学期 4月11日～7月18日

教材名	目安	進め方
たからものを おしえよう	自分の大切なものを順序立てて友達に話す 相手が伝えたい事を聞く	教師の宝物の模範発表の上、発表し、聞き手は必ず質問をする
はをへを つかおう	語と語をつなぐ助詞「は・を・へ」を正しく使 って文を書く	唱え歌をリズムに気をつけて音読 カードを使い、文作り 唱え歌を視写する
すきな こと なあに	好きな事とその理由を文と文との続き方に注意し て二文で書く事	好きな事をカードに絵と言葉で書き、それをます目があるノートに文章と して書く（二文）理由は、「〇〇からです。」を使う
おおきな かぶ	登場人物になりきって音読劇	二時間目に音読劇をしました
ほんは ともだち	自分の読みたい本を選んで読む	図書館では、本の置かれ方や借り方を知る 好きな本を選び、好きな部分の発表
こんな ことを したよ	知らせたい体験を決めて必要な事柄を思い出し、 語と語、文と文のつながりに気をつけて書く	いつもの絵日記（毎回、宿題でだしている）

## 二学期 9月 5日～12月19日

教材名	目安	進め方
いちねんせいの うた	語のまとまりや言葉の響きなどを考えながら、工 夫して音読する	教師の後に繰り返し音読 また動作も含めて音読 青い（空のイメージ）紙に視写する
なつやすみの ことを はな そう	経験の中から皆に話したい事を選び、話の順序を 考えながら、丁寧な言葉を使って話す事 話の大事な所を落とさないように聞く事	教科書の絵を見て夏休みの経験を伝えあう具体的なイメージをもち、題材 を決める 話す事を決め、発表し合う また、質問や感想も伝える

## 二学期 9月 5日～12月19日

教材名	目安	進め方
ひらがな あつまれ	平仮名を使って条件に合う言葉を書くこと	表を見て、縦、横、斜めに隠れている言葉を見つける また、各自クロスワードの問題を作り、解け合う しりとりをカードに書く
ゆうやけ	登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む事 文章の内容と自分の経験を結びつけ、自分の思い や考えを発表する	教師の範読の上、感想を発表 題名・作者・登場人物を確認し、登場人物とナレーターと役割を決め、役 になりきり音読 好きな場面と自分に似ているなどと思う事を発表
かたかなを みつけよう	片仮名の語を正しく読み、片仮名で書く言葉を見 つけて書く事	唱え歌を音読し、それを視写する 身の回りにある片仮名をジャンルごと に見つける
うみの かくれんぼ	事柄の順序や文章構成上の順序を考えながら読む 事 主語と述語の関係や、漢字の読み方に注意し て文章を読む事	教師の範読し、何が・何処に・体の特徴・隠れ方を確認させる 内容を更に確認させる為プリントを用意し、それぞれの生き物をまとめる 図鑑などを使い、他の生き物について調べ、発表する
かずと かんじ	一から十までの漢字を読んだり書いたりする事 数を表す漢字やいろいろな数え方ができる	数え唄をリズムカルに楽しく読む 数を表す漢字をノートに書いて練習し、幾つかの読み方がある事を確かめ る
くじらぐも	場面の様子を想像し、その様子が表れるように声 に出して読む事 登場人物の行動を中心に、好きな所を見つけなが ら読む事 かぎ（「」）の使い方を理解する事	教師の範読により話の内容を確認 かぎ「」の説明をし、それぞれ誰の言葉かを教材に記入する 各ページの押絵を見て、教材にない言葉を考え、記入する 動作をつけて音読 二時間目に音読発表会
しらせたいな みせたいな	書こうとする題材に必要な事柄を観察し、語と語 や文と文の続き方に気をつけて書く事 書いた文を読み返す習慣をつけ、間違いを直す事	知らせたい事を決め、絵と短い言葉を書き、それを順序良く文章にする 書いた文書を友達と交換して読みかえし、間違いを直す（特に句読点） 訂正後、文章を保護者に読んでもらい感想を書いてもらう

## 二学期 9月 5日～12月19日

教材名	目安	進め方
まちがいを なおそう	書いた文章を読み返したり、間違いを正しくなおしたりすること	教科書の例題の間違いを見つけ、正しく字をかく 毎回、日記の宿題も読みかえし、間違いがあれば訂正させる
かん字の はなし	漢字を読んだり書いたりし、漢字を使った文の続き方に注意をしてかく	教科書や漢字カードより、漢字の成り立ちを学ぶ 書き順に気をつけて練習をする 例文にある絵を漢字にシテノートに視写する 習った漢字を使い、短い文を作り発表する
ことばを 見つけよう	文の中に隠れた言葉を補いながら言葉遊びの文を読むこと 文字を組み合わせると意味のある言葉になる事にくづかせる	教科書の例題の文の意味を理解し、□に入る言葉を考える 「いる」と「ある」の使い方の違いを理解させ、例文を作る
じどう車 くらべ	知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、本文より大事な言葉や文を書き抜くこと 事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書く事 カタカナや句読点の使い方の理解	三つの事柄の「しごと」と「つくり」があり、「そのために」でつながっている事を説明の上、表にしたプリントで書きこみながら理解させる また、同時に板書きも使い、何度か「しごと」「つくり」は何か、「そのために」どんな事があるか、教科書より文を抜き出す 好きな自動車を選び、「しごと」「つくり」「そのために」を使い文章として絵つきで書く
かたかなを かこう	片仮名を正しく読んだり、書くこと	(二時間目をお願いしました) プリントにて片仮名の練習
まの いい りょうし	読み聞かせを聞きながら昔話を楽しみ感想を伝え合う	教科書の押絵を見ながら教師の読み聞かせ 解らない言葉の説明
むかしばなしが いっぱい	日本や外国の昔話を読んだり、読み聞かせをする	(二時間目をお願いしました) 昔話の読み聞かせ 押絵をみながら、どんな昔話かを見つけてもらう おはなしカードの記入

二学期 9月 5日～12月19日

教材名	目安	進め方
ともだちに きいてみよう	話す順序を考えながら丁寧な言葉で話したり、大事な事を落とさずに聞いたりする事 友達を取材して、紹介するために必要な事柄を集める事	教師のインタビューの模範を見せ、二人組になり友達と楽しいと思う事を話し合う（表にまとめた質問のプリントを使う） 友達に尋ねた事を発表
日づけと よう日	日づけや曜日の歌を楽しく唱えながら語句の意味やまとまりに気づく事 語と殿続き方に注意しながら日づけや曜日の歌を書く事	（二時間目に音読をお願いしました） 宿題として、この歌をノートに視写する
本を えらんで よもう	読みたい本を選び、好きな所を見つけながら読む	図書館での本の選び方の説明
ずうっと ずっと 大すきだよ	本を楽しんだり、想像を広げたりして読む事	教師の読み聞かせ、生徒の音読 「おはなしカード」に、感想を記入

三学期 9月 5日～3月日

教材名	目安	進め方
てんとうむし	語のまとまりごとに意味を考えながら音読する事	「てんとうむし」の気持ちを想像しながら詩を音読 促音の発音を繰り返し音読 詩を視写し、余白に絵を書く
ものの 名まえ	客と店の人になり、売り買いのやり取りをし、尋ねたり応答したりする事 意味による語句のまとまりや上位後・下位語の関係に気づく	物の名前に上位後と下位語があることの理解 お店屋さんごっこでの会話の練習 二時間目に看板を作り、お店屋さんごっこをする

## 二学期 9月 5日～12月19日

教材名	目安	進め方
かたかなの かたち	平仮名と片仮名の形が似た字に注意して書く事	一字ずつ形に注意してノートに視写する 雑誌から片仮名を見つけ、切り抜き、ノートに視写する 片仮名を使って文を作る
てがみで しらせよう	経験したことから書く題材を決め、文と文の続きに注意して書く事 句読点の打ち方や主語と述語に注意して書く事	手紙を書いたり、もらったりした経験を話し合う 教材文を読み、嬉しかった事や楽しかった事を手紙に知らせようという事を確認し、誰に書くかを決め、ノートに下書きをし、実際に日本へお手紙を出し、返事をもらう 後日、返事がきたら発表する
たぬきの 糸車	話を楽しみながら想像を広げて読む	教師の読み聞かせ 押絵を見て教科書にない言葉を考えて書きこみをする 好きな場面をみつけ、感想も含めて発表
ことばを たのしもう	濁音、促音や早口言葉を楽しんで音読	手拍子をつけて音読 好きな早口言葉をえらび発表
これは、なんでしょう	友達と協力して問題と答えを考える 身近な物の中から問題にする物を決め必要な事柄を集める	教師のモデルをみせ、二人一組になり、問題を作りゲームの発表
どうぶつの 赤ちゃん	違いを考えて読み、説明文の理解	教師の範読後、赤ちゃんの様子を質問し、内容の確認 更にそれぞれの違いの確認のため読みとりの観点を表にして、埋め込んでもらう 他の動物も各自で調べて生まれたばかりの様子を調べて発表
にている かん字	似ている漢字の形や筆順に注意して正しく読んだり書いたりする	似ている漢字をノートに書き、違う部分に印をつける 教科書と同じ漢字を使って文を作る 巻末の漢字一覧表から似ている漢字をみつける

二学期 9月 5日～12月19日

教材名	目安	進め方
だってだつての おばあさん	好きな場面を探して読む	登場人物の行動や性格と持ち物が関連している事を板書きにして確認 教師の範読中、誰の会話か名前を書き込む 話が長いので、猫とおばあさんの会話を役になりきって生徒に順番に音読 好きな所を見つけ、その訳と絵を書き、発表
いいこと いっぱい 一年生	経験したことから書く題材を決めて順序を考えながら文と文の続き方に注意して書く	教科書をみながら今まで習った単元や特例会の事を思い出しながら話す 教科書の例題より、した事あった事を中心に会話や思い入れの書き方の説明 思い出を文章にして発表

## 気づいた事や反省

・今回で一年生を担当するのが二回目ですが、人数が4人でやりやすい人数ではありましたが、個人差が大きくやりにくい部分もありました。昨年同様に、書き物が終わった生徒には、未だ終わってない生徒を助けたり、他の事（教科書からの物語を読んだり、教科書ぴったりテストなど）をやって頂きました。やはり何度も続くと、僕ばかり多く勉強していると思うところもあり、かわいそうな気もしますが、ここは生徒に頑張ってもらいたいです。そうでないと手持無沙汰で他の生徒とおしゃべりが始まってしまいます。

・何か発表する時、生徒はとても楽しそうにしてくれますが、授業中に、短い文だとできますが、よく考えて長文になると、たくさん考えなくてはいけない為か、やる気がなさそうです。やはり、時間の問題もあり、文章を書く時はどうしても宿題として自宅になります。

・漢字学習について、授業では、新出漢字の書き順をさらっと教えるだけで、あとは各自、自宅での練習にしてもらいました。また、保護者のアンケートから新しい単元に入る前、夏休みに入る前から、漢字の紹介やゲームをとの意見がありましたので、今回は、新しい保護者の方たちとの確認の上、やっていこうと考えています。他に、漢字カードは、授業中に取り入れる機会があまりなく（時間が足りないのが事実ですが）、二時間目にもお願いしたかったのですが、なかなか機会をのがしてしまいました。もう少し、漢字カードを使っていくと子供たちももっと親しみやすくなるのではと思っています。

・教科書以外の補佐の教材についてですが、教科書ぴったりテスト以外に、ひらがな・カタカナ・漢字の教材があると良いという意見をもらいました。次回からはウェブサイトで見つけて、保護者に印刷してやっていこうかとも思っています。

以上